

※文字の大きさは Meiryo UI /12 ポイント以上とし、行間・文字間、上下左右の余白は変更しないでください。
 ※具体的に示したい図、写真、表、グラフなどは、(写真1) (表1) などと文中に記載し、右ページに(写真1) (表1) などと表記の上、貼り付けてください。
 ※文章と図等を組み合わせながら作成することも可能です。各項目の枠の上下幅は、変更可能です。
 ※いずれの場合も、必ず A3 片面 1 枚におさまるように作成してください。ファイルサイズは 5 MB 以下としてください。

【様式 1】

<エントリーシート> ※事務局記入欄 No. : A - 29	部門 研修成果活用部門 (学校組織マネジメント指導者養成研修 A 日程)	学校名・氏名 杉並区立済美小学校 (東京都) 竹内 明子
	活動名 (主タイトル) 子供に伝統・文化教育を! (12文字以内) (副タイトル) 子供の意欲が湧く学校マネジメント (16文字以内)	
課題の設定: ※活動を行う前に、課題や目標をどのように設定しましたか? 視点などを含めて記載してください。 ・目標: 伝統・文化を大切に、次世代へつなげていこうとする子供を育てられる教員の育成。 ・課題: 日本人としての自覚と誇りを育成するための「カリキュラムマネジメント」及び教員の「授業改善」		
方針・計画: ※課題を解決するために仮説を立てて、活動内容を組み立てたのか、記載してください。 (1) 方針: ① 子供が深く理解するための、芸術家による本物の伝統・文化に触れるカリキュラムを充実。 ② 他校・保護者・地域に発信することにより、活動の評価を高め、教員のやる気につなげる。 (2) 計画: ① 全学年の発達段階に応じた「伝統・文化体験授業」のカリキュラムマネジメントを実施。 ② 各道の芸術家を講師とし、交流・体験活動を通して子供たちの理解を深めさせる。		
活動内容: ※方針・計画に基づいてどのような活動を行ったか、また、複数の活動を展開した場合はその位置づけや関連性を記載してください (1) 発達段階に応じたカリキュラム作成 (取り組み始めた平成 28 年度より毎年見直し)。→【図 1】 (2) 全学年における「伝統・文化体験授業」の実施 (各道の芸術家が講師)。→【一例が写真 1~6】 (3) 各体験授業を特色あるビジュアルで紹介した「リーフレット」・「学校要覧」・「ホームページ」・「のぼり旗」などで他校・保護者・地域に発信 (本校の誇るリーフレット・学校要覧御希望の方には配付可能)。 (4) 東京都オリンピック・パラリンピック教育説明会で、本校の「伝統・文化教育」について、パワーポイントや映像・動画を使って都内の約 1,000 名の学校関係者や教員に紹介・発信 (H30.4.23.)。		
活動の成果: ※課題や目標に対し、どんな影響、変化あったか、職員や参加者の声など客観的な情報・データとともに記入してください。 (1) 本校教育調査の「伝統・文化教育」に関する児童・保護者の肯定的評価が、それぞれ 93%・90%と、高ポイントとなった。→【グラフ 1・2】 →児童の声「歴史も理解でき親近感がわいた。」「もっと調べてみたい。」「心があり、世界に誇れると思う。」「私の中で、どんどん面白いものに変化した。」「人として生きる教養が身についた。」 (2) 全学年の教員による、組織的かつ実施確実なカリキュラムマネジメント。 →教員の声「前年度からの PDCA を生かした全校カリキュラムを組んでいるので、学年に応じ、段階的に組織的に指導することができる。」 (3) 講師 (各道の芸術家) にも好評。持続可能な教育活動のための安定した講師活用が定着。 →講師の声「我々が大切に受け継いできた日本の伝統・文化を子供たちに伝えることができるのは、この上なく幸せなことでございます。」「こんなに組織的に取り組んでいる学校は、今まで見たことが無い。」 (4) 組織的な「伝統・文化教育」の取組が、内閣府の「beyond2020」として認証された。→【図 2】		
アピールポイント (アイデアや工夫): ※3~5 つ程度の箇条書きにしてください (1) 本校の経営方針である「伝統・文化教育の推進」を全教員に理解させるため、年度始めと 2 学期始めに研修会を行い、全教員の共通理解を図った。→「組織的・計画的なカリキュラムマネジメントの実現」 (2) 「日本の伝統・文化」に関する意識アンケートを 6 年生に 2 回実施。意欲・理解に関わる項目について調査し、体験授業を積むことによる児童の意識向上の変化を明瞭化した。→【グラフ 3】 (3) 作成したカリキュラムを基に教科横断的な計画・取組を行い、児童の学びを深めた (例: 「百人一首と社会、三味線・長唄・箏・琵琶と音楽、着物と図画工作」など)。		

【図 1】
本年度のカリキュラム

「1 年生」
・伝統折り紙

「2 年生」
・昔遊び

「3 年生」
・箸の作法
・プロ棋士による将棋

「4 年生」
・和菓子作り
・茶道
・琵琶

「5 年生」
・箏
・着物の歴史と着付
・華道
・能楽

「6 年生」
・糸操り人形ワークショップ
・三味線
・長唄
・百人一首
・能楽

「全校」
・糸操り人形の観劇 (文化庁)
・落語体験 & 鑑賞



【写真 1】: 三味線・長唄



【写真 2】: 茶道



【写真 3】: 糸操り人形



【写真 4】: プロ棋士の将棋



【写真 5】: 能楽



【写真 6】: 落語体験・鑑賞

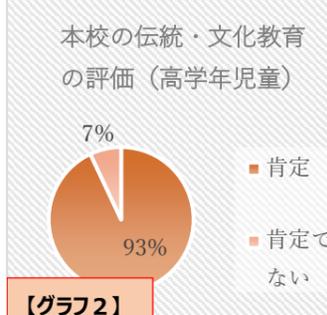
※上記写真は、体験授業の一例です。

【グラフ 1】 本校の伝統・文化教育の評価 (保護者)



肯定	90%
肯定でない	10%

【グラフ 2】 本校の伝統・文化教育の評価 (高学年児童)



肯定	93%
肯定でない	7%

【グラフ 3】 伝統・文化への意欲・理解 (%) 6 年生



	前よりもわかる	詳しく調べたい	たくさん経験したい	学校以外でも経験したい
平成 29 年	75	70	78	66
平成 30 年	88	85	89	86

【図 2】

